

事業所名 グループホーム本棟
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 1月12日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 医療施設勤務
資格・経験 介護医療型施設(6年)、ホームヘルパー2級

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) ・「少人数で家庭的な落ち着いた環境の中で、自分らしく、安心して自由に楽しい生活をしていただけるよう、専門スタッフが一人ひとりを大切に、優しく寄り添い共に暮らししていく」を理念とし、入居者にとって居心地の良い生活の場の提供をめざしている。床暖房や空気清浄機を設置し、木の良さが十分活かされた住環境の中で、清潔で落ち着いた生活を一人ひとりに提供できるように努めている。 ・冷凍食品を一切使わず、旬の新鮮な食材を使用した食事や手作りのおやつを提供を心がけており、食事から食べる楽しみや季節を感じてもらえるように心がけている。 ・地域の方々との交流に努め、諸行事での交歓などを機会あるごとに行い、地域の中で暮らすことを大切にしたい支援の提供に努めている。 ・入居者一人ひとりにとって、入浴や食事等全てにおいて心地良い場であることをめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が暮らして生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) ・入居者一人ひとりの今までの生活を良く知り、今出来ることを大切に、役割のある生活を感じてもらえるよう、入居者の意思を尊重した支援を心がけている。 ・職員は、常に笑顔で穏やかな対応に努め、共に過ごす家族として入居者との信頼関係を大切にしている。 ・清潔でゆったりと過ごせる住環境と食生活の充実を図り、入居者が安心して我が家のように落ち着いて暮らせる場の提供に努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・歴史を感じる町並みを残す矢掛町にホームはある。井原線の駅へも近く、近辺には商業施設や病院、役所などもあり、生活しやすい環境がある。国道から少し中に入った所にあり、車の交通量も少なく、静かな環境でもある。
- ・代表者が別に運営している会社が材木業を営んでおり、内外装共に木をふんだんに使い、和と洋が上手く調和した落ち着いた住環境を提供している。また、降雪もある地域性も考慮し、床には床暖房が設置されている。空気清浄機を各居室およびトイレにも設置し、清潔な環境への配慮もなされており、入居者が安心して暮らせる場の提供に努めている。
- ・毎日の食事やおやつに冷凍食品や加工品を使わず、旬の新鮮な食材を使った手作りの料理を提供しており、入居者に季節を感じてもらいながら、食べる楽しみを味わってもらえるように努めている。
- ・職員は常に笑顔で心がけ、入居者が行う作品作りや家事作業などを一緒に行い、入居者の思いを大切にしたい支援に努めており、互いの信頼関係が構築されている。
- ・入居者それぞれが、自分のペースで1日を過ごしている。入居者の表情も穏やかで、和やかな雰囲気のもと、毎日を生き生きと過ごされている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善の項目はない。
- ・今後も、心温かい支援を継続していかれることを希望する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) ・入居者は、畑や花壇の手入れ、調理の手伝い、洗濯物干し、趣味の作品作りなど、今までの生活や経験の中から出来ることを見つけて、日々の生活に活かせるように支援することを心がけている。計算の好きな方は、家族が持って来られたドリルをされたり、ほかに希望される方にはホームで用意している。 ・呼称は、入居者のかつての職場での呼び名を用いたり、居室へ入る時やトイレ使用時には、必ず声かけてから入るようしており、入居者の尊厳を大切にしたい支援を心がけている。 家族が訪れた際には、面会カードに記入してもらい、個人情報として他の方の目に触れないような対処をして、入居者のプライバシーを守っている。 ・入居者の個人カルテなど、大切な書類は事務所で保管して管理している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) ・事故発生時には、受診・家族への連絡、町への報告を速やかに行い、職員同士の話し合いの場も早急に設け、原因や解決策を検討して再発防止に努めている。 ・医療面での知識や対応の徹底を図るため、資料を作って全職員に情報提供を行い、全職員で介護資質の向上を図る努力をしている。また、終末ケアに向けての処遇も検討している。 ・職員のレベルアップを図るため、内部はもとより外部研修の機会を多く持てるように心がけている。 ・入居者に快適な住環境と良質な食事、本人の持てる力に応じた活動を提供し、心身機能の維持・向上を図れるように支援している。 ・ヒヤリハット記録には、状況・私の考え・助言・備考欄が設けてあり、起こった事に対して会議を開き、事故に繋がらないように努力している。		